中部 NOW

公益財団法人オイスカ　愛知県支部・中部日本研修センター会報

第333号
令和6年新年号

発行:(公財)オイスカ中部日本研修センター

〒470−0328 豊田市勘八町勘八27−56
TEL 0565−42−1101 FAX 0565−42−1103
E-mail: chubutc@oisca.org http: //www.oisca.org/

新年のご挨拶

オイスカ中部日本後援会会長　水野　明久

新年を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが5類に移行されたことも後押しになり、経済活動の正常化が着実に進み、コロナ禍からの復活に向けた再スタートの年になりました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の不安定化など、地政学リスクの高まりは、国民生活や企業の経営環境にも影を落としております。

オイスカ中部日本研修センターでは、海外研修生・技能実習生の受け入れが進み、現在、9か国・99名の人材がそれぞれの国の将来を担うべく、各種技能指導を受けております。また、愛知県支部においては新規会員獲得に向けた取り組みを積極的に展開し、会員数は870名と支部単位の会員数では全国1位になったと伺っております。

オイスカでは中央アジアのアラル海の緑地化事業を始めるなど、2030年度までの国内外で5万ヘクタールを目標とした緑化計画を推進しており、国際的な気候変動対応が喫緊の課題となっている中、その活動はますます重要なものとなってくると考えております。

オイスカ中部日本後援会といたしましても、財政面からの支援を基軸に、オイスカ活動が未永く続くよう尽力してまいる所存であります。

本年も会員の皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

オイスカ百年時代への想い

オイスカ愛知県支部会長　光岡保之

「これまでもオイスカ」

明けましておめでとうございます。迎えました新しい年が全ての会員の皆様に幸多かれと願っています。

オイスカが中野興之助翁によって創立されて60有余年となり、常に創始の精神を大切にしながら連綿として、活動が続けられています。これまでもこれからも多くの人が関わって、それぞれの一時代を担っていただいて今日があることはいうまでもありません。オイスカのこれまでの素晴しい事例としては、東北の海岸林再生プロジェクトが挙げられます。震災直後から、オイスカが提言し、地元が呼応して立ち上がり、全国から多くの募金とボランティアを募って見事に成功した三位一体のプロジェクトでした。

「これからもオイスカ」

オイスカ本部が今年度からウズベキスタンのアラル海の緑化事業に取組みます。

昔はキャビアの産地であったアラル海の水が涸渇して今は、世界の負の象徴となっています。このアラル海を「緑の樹海」にし、副産物としてニクジュヨウを生産して砂漠に新たな産業を創出する構想は素晴しいことです。今後10年計画とのことですが、到達目標をどこに置き、年度別計画をどう進め、毎年の検証をどうチェックしていくのか、世界の注目のテーマだけに確かな実証を挙げていくべきです。

「百年後もオイスカ」

一方で今、世界を震撼させているのが戦禍の恐怖であります。

20世紀は戦争の絶えない悲しみの世紀でした。21世紀は2度と戦争のない平和な世紀というのが人類不変の願いのはずです。しかし、ロシアのウクライナ侵攻に始まり、今はイスラエル、パレスチナの紛争と平和を脅かす問題が発生しています。オイスカの究極の目的は地球は1つ世界平和の実現です。環境問題も人づくりも具体な課題としては大切ですが、それは1つの切り口と考えます。

一番大切なことは1人1人の命を大切にしながら、丸い地球が1つになって、平和な世界を実現することです。これがオイスカ百年の使命と考えます。オイスカ百年の使命に向けて頑張りましょう。

新年のご挨拶

オイスカ中部日本研修センター
所長　小杉裕一郎

会員・支援者の皆様、新年あけましておめでとうございます。

旧年中は中部日本研修センターへの御支援と御協力を賜り、誠にありがとうございました。

昨年を振り返りますと、海外研修生は農業コース6名(インド・バングラデシュ・フィジー・パプアニューギニア・フィリピン)、家政コース1名(フィリピン)、国際協力ボランティアコース1名(インド)を受け入れることができました。2023年度より農業コースは2年コースとなり、2年目の研修生が先輩として新しく入国してくる新研修生を指導していきます。

「農業を通じて公に尽くす人材を育成する」方針のもと、彼らを受け入れ研修していくことはオイスカの人材育成の柱の事業であり、会員様お一人お一人の支援が研修生の育成に直結しております。会員様の御支援のおかげで、研修生の育成を進められております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、技能実習につきましては、愛知・滋賀・三重に加え、静岡県浜松地区もセンターの管轄となり、現在90名を越える技能生がオイスカ会員様事業所にて技能習得に励んでおります。

啓発活動におきましては、光岡保之支部会長を先頭に活発な会員入会活動を展開いただき53件の入会をいただきました。会員継続と退会防止が課題ですが、地元で展開される推協活動への参加を通じて、オイスカ理解を深めていただき会員継続につながればと考えております。

本年も会員様と共に、オイスカ運動の推進・研修の充実と発展を期し、職員一同粉骨砕身努力してまいります。

今年1年、会員の皆様の ご多幸とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます

「第１回オイスカ中部日本の集い」を開催

11 月 26 日、晴天で穏やかな日和の中、中部センターを会場に「第 1 回オイスカ中部日本の集い」が開催されました。本事業は光岡保之支部会長の発案により、センター地元の愛知県に加え、中部日本地区でオイスカ運動を推進している岐阜・静岡・三重・富山の各県支部にも参加をいただき、会員同士の相互交流と連携を目的に実施されました。準備・当日の運営は支部・推協とセンターが一体となって進めていく方針のもと、半年以上の準備をかけて当日を迎えました。当日は 3 部構成となっており、第 1 部は中部圏の各県支部と県内各推進協議会による「わが推協の一押し事業」の発表、第 2 部はランチ交流会をグランドでおこない、各推協がそれぞれの料理を担当し様々な料理が参加者に振舞われました。
第 3 部にウクライナの歌姫と言われるナターシャ・グジーさんのコンサートがありました。
200 名を越える会員様の参加をいただき、来賓としては内閣府副大臣/経済産業副大臣の酒井やすゆき先生、参議院議員田島まいこ先生、みよし市小山市長、豊田市長代理で安田副市長様はじめ、多くの県議会議員様、市議会議員様にもご臨席をいただきました。次回の開催は、静岡県支部で開催できるよう今後協議検討されることとなりました。これを機会に各県支部・推協の活性化・会員増強が期待されます。　　小杉　裕一郎（筆）

沢山の会員様に参加いただきました。

静岡県支部（内山事務局長）の発表

オイスカ浜松国際高等学校吹奏楽部の演奏

オイスカ海外研修生・技能実習生

会場での餅つき

4センターサミット開催

第1部　センターサミットの会合

第2部　四国のつどい。四国会員が大勢集まりました

11月8日、オイスカ支援連携サミット（以下サミット）が香川県高松市内で開催されました。サミットは光岡保之支部会長（財団理事）が提案し始めて開催され、今年で4回目。本部主催の会議で本部役員と国内4研修センター・支部の代表者が参集し意見が交わされました。愛知県支部からは光岡保之支部会長と梅村清春支部副会長（豊田推協会長）が出席されました。会議では「10か年計画の見直し」、「技能実習制度廃止の伴う影響と対策」、「OB・OG研修生との出口調査の必要性と連携について」等が主な議題として協議されました。本サミットの開催を重ねる中で、本部と国内拠点のセンター・支部が一体となり、課題解決に向けた対策を話し合い、オイスカのスケールメリットを生かした相互支援と連携が進んでいます。次回の開催は関西研修センター・関西支部が幹事となり開催予定です。

小杉裕一郎（筆）

オイスカ友の会が「愛と絆の集い」を開催

オイスカ友の会（佐藤銀弘会長）の主催により12月3日（日）、「愛と絆の集い」が開催されました。会場は鴛鴨町区民会館。第一部は、アラル海緑化を目的として実施された「ウズベキスタンツアー」に参加した友の会会員 3 名（清水孝紀さん、石川俊秋さん、高濱耀圭美さん）による報告が行われました。アラル海緑化活動は、オイスカの海外プロジェクトでは最も遠方に位置し、今後の海外協力活動の中では最大規模の事業になるものです。今回現場最前線まで足を運び、6000 本のサクサウールの苗木を植林してきた様子が3名から報告されました。第二部は、杉浦亜紗比さんによるマレーシア・ボルネオでの活動報告がありました。杉浦さんより、オイスカ友の会の支援を受けてボルネオの村で井戸を掘り、地域住民の衛生環境の向上に取り組んでいる旨の報告がありました。

会場には 100 名近い友の会会員・市民が集まり、報告に耳を傾けていました。会の終了後ウクライナ避難学生を支援するための募金活動があり、7 万円以上が参加者から御寄付いただきました。また、友の会では1月26日にウクライナ避難学生を支援するための交流会を末野原中学校で開催します。

11・12月研修生の活動

グレゴリー（記）

いろいろなイベントに参加させて頂き、農産物と海外プロジェクト品の販売をさせて頂きました。

四国センターと合同の広島平和教育研修。広島県支部の皆様にお世話になりました。

豊田推協農業ボランティアの皆様に植えて頂いた

技能実習基礎研修修了式

11月6日（月）、11月15日（水）技能実習基礎研修修了式が執り行われました。合計9名（中王食肉㈱、滋賀ダイハツ㈱、㈱藤恵、㈱フィールドサービス、㈱掛川空調サービス）の技能生が中部センターでの研修を修了し、各会社に配属されました。これから新たな生活が始まります。慣れない環境で大変な事もあるかと思いますが、オイスカスピリットを胸に、日本での実習に励んでもらいたいです！各企業の皆様、3年間ご指導の程、宜しくお願いいたします！！

中村仁美（筆）

技能実習生修了式

12月6日（月）㈲小池牧場1名（酪農）、㈲山本2名（介護）の技能実習修了式が執り行われました。

式には3名を指導してくださった、小池牧場代表取締役小池慎吾様、山本取締役山本浩史様も出席してくださいました。㈲山本のエデンは「同僚が私に話した1つの日本の特性が強く印象に残りました。それは、「おもいやり」という考えです。この文化が日本を良くしていると思う。日本で学んだことをフィリピンに持ち帰りたい」と話してくれました。

3年間家族のように技能生を受け入れ、やさしく、時には厳しく指導してくださった。会社の皆様、誠にありがとうございました。

更新会員名簿（666／874）

安城（77／80）株式会社 東祥、神谷清隆、大屋明仁、有限会社 かねとみ、深津修、松尾学樹、鈴木 浩、杉山 朗、野場華世、松本佳栄、沓名喜代治、白谷隆子、神谷和明、石川郁子、伊藤康伸、竹内稜人、宮崎千春、石川健一、大見 学、田中直樹
岡崎（20／29）杉浦貴之
奥三河（4／7）峰野 修
尾張一宮（2／5）一宮商工会議所、大興建設 株式会社
刈谷（25／35）株式会社 淺野機械工業所、株式会社 Room Search、吉原建設 株式会社、株式会社 伊藤宝石店、カリツー 株式会社
豊田（188／235）井奥隆子、中村浩之、若山佳介、谷口 隆、奥田工業 株式会社、株式会社 福田土地、鈴木 晤、鬼頭律生、岩田恭子、加藤美由紀、株式会社 村瀬鉄工所、株式会社 豊田スタジアム
名古屋（56／72）有限会社 タイヨーペイント、西野拓史郎、株式会社 魚津社寺工務店、東菱電子 株式会社、熱田神宮宮庁、名古屋鉄道 株式会社、神野悦太郎、豊田合成 株式会社、株式会社 豊田自動織機、株式会社 アイシン、神野春光、リンナイ 株式会社、名港海運 株式会社
名古屋北（25／31）株式会社 藤田美装、株式会社 未来サポート、守山商工会、服部守孝
名古屋西（14／27）株式会社 広州管工、中川あつし、熊丸美智江
名古屋南（11／19）大野明美、小柳津初男
丹羽（51／62）株式会社 中村自動車、株式会社 柳風水野商店、福玉精穀倉庫 株式会社、大前温子、生興 株式会社
西尾（25／33）西三河農業協同組合、田中脩、丸洋建設 株式会社、伊藤則男、岡田税理士事務所、長坂建設興業 株式会社、石川農機 株式会社、株式会社 豊和、やまと旅館、西尾商工会議所、株式会社 ハズ、

更新会員名簿

株式会社 杉浦製作所、河合物産 株式会社、毎味水産 株式会社、株式会社 オティックス、山旺建設 株式会社
半田（19／21）手島ガス住設 株式会社
碧南高浜（12／56）伊藤ルミ、神谷 悟、川角年比古、杉浦哲也、沓名 宏、鈴木宏枝、小林晃三、杉浦孝成
センター（30／40）萩原長治、鈴木良子、有限会社 吉田畜産、渡会一昭、東海漬物 株式会社、森 文典、吉村淳子、永井祥一、三登建設 株式会社、サーラエナジー 株式会社
三重（24／25）竹内米子、太陽化学 株式会社
（十一月末までの入金を掲載）

新入会（個人）

鬼頭律生（名古屋市）
株式会社 テクノアンカー（春日井市）

新入会（法人）

森藤技研工業株式会社 春日井工場（春日井市）
服部守孝（名古屋市）

インクカーリッジ

内藤正弘（豊田市）
中村さと子（高浜市）
市脇公平（大府市）
安成工業 株式会社（安城市）

ベルマーク

福田香緒里（豊田市）
市脇公平（大府市）

寄付金

伊世利子（三重県四日市市）
明治用水土地改良区（安城市）
明保澄雄（岡崎市）
マクドナルド・ロナルド（豊田市）
オイスカ刈谷推進協議会（刈谷市）
オイスカ安城推進協議会（安城市）

寄付金

中野利弘（東京都杉並区）
株式会社 南山園（安城市）
オイスカ知立推進協議会（知立市）
川上洋右（豊田市）
オイスカ名古屋南推進協議会（東海市）
株式会社 レインボー（岡崎市）
CKD 株式会社（小牧市）
三浦電気 株式会社（安城市）
東洋金属 株式会社（丹羽郡扶桑町）
株式会社 長谷川設備工業（碧南市）
株式会社 村金（丹羽郡大口町）
村上典子（江南市）
増岡吉尚（みよし市）
服部俊美（豊田市）
林重喜（岡崎市）
シマツ 株式会社（刈谷市）
筑田明生（豊田市）
株式会社 鈴木産業（名古屋市）
鰐部兼道（みよし市）
竹本和彦（安城市）
磯貝正隆（高浜市）
辻宏夫（弥富市）
山中勲（豊田市）
工藤泰子（豊田市）
内藤欣憲（豊橋市）
加藤喜昭（名古屋市）
株式会社 芝テクノ（名古屋市）
株式会社 maruichi（犬山市）
深津由子（豊田市）
吉川久喜子（名古屋市）
久代利通（岡崎市）
株式会社 淺野機械工業所（豊田市）
梅村清春（豊田市）
神野重行（名古屋市）
森藤技研工業 株式会社（名古屋市）
株式会社 アクアテック（名古屋市）
中村文哉（名古屋市）
太田宗一郎（刈谷市）
松野誠寛（香川県高松市）
中村浩之（豊田市）
浪速金液 株式会社（名古屋市）
ダンフーズ 株式会社（名古屋市）
スギホールディングス 株式会社（大府市）

寄付品

遠山惠子（豊田市）
塚本隆敏（みよし市）
有限会社 豊勝硝子店（豊田市）
加藤信子（三重県四日市市）
株式会社 三好製作所（みよし市）
黒田啓介（名古屋市）
福田香緒里（豊田市）
沼田昭雄（名古屋市）
清水寿（豊田市）
株式会社 ヤマワ（岐阜県各務原市）
加藤悟（名古屋市）
佐藤美智代（豊田市）
大豊工業 株式会社（豊田市）
後藤里惠子（豊田市）
株式会社サンコー（みよし市）
伊藤安信（みよし市）

今年もよろしくお願いいたします。